

**令和6年度 すみのえ未来塾事業
公募型プロポーザル応募にかかる質問と回答**

質問事項及び回答

質問 番号	質問	回答
1	仕様書6-(2)-ウで「6回程度の体験学習」とありますが、これは6回の連続したカリキュラムを提供するというのでしょうか。それとも同様の内容を、毎回参加者を変えて6回程度実施するというのでしょうか	6回連続したカリキュラムではなく、1回完結型の体験学習とし、内容については、毎回同様の内容でも毎回違う内容でも組み合わせは問いません。参加者には申込時に希望回次を選択していただくことを想定しています。
2	仕様書6-(2)-エの住之江区役所内の会議室の平面図、面積、最大定員、机椅子の数をご教示ください。	住之江区役所内の会議室、すみのえ舞昆ホール(住之江区民ホール)の平面図、最大定員等は別紙1のとおり
3	仕様書6-(2)-カー(ウ)で対面型とのことですが、参加者により価値のある体験を提供するためにカリキュラムの一部で特別講師がオンラインで登壇することは可能でしょうか。	体験学習の運営において支障のない講師やスタッフの数が現地に配置されていれば可能です。住之江区役所内は、Wi-Fi 接続の環境でないため受注者で準備いただく必要があります。
4	仕様書6(2)で1回90分～120分、6回程度の体験学習とすることとありますが、同一の児童・生徒が6回とも受講すること(180名×6回)を想定していますでしょうか？それとも6回合計で延べ180名参加を想定していますでしょうか。	後者を想定しています。
5	区内の小学生中学生向けチラシの1回あたりのおおよその部数をご教示ください。	令和6年度の区内市立中学校(7校)1～3年生と小学校(14校)5～6年生の数約4,200名分と予備を含めて約5,000部です。
6	昨年度の運営実績(学年別参加人数・参加率・実施日程・受託事業者)をご教示ください。	すみのえ未来塾は、令和5年度までは「起業家教育を題材」とした講座を実施しているため「プログラミング教育を題材」とした体験学習は令和6年度が初めてとなります。 参考: 令和4年度の運営実績は、別紙2のとおり
7	昨年度の実施を踏まえた、本事業の成果・課題および受託授業者に期待することをご教示ください。	すみのえ未来塾は、令和5年度までは「起業家教育を題材」とした講座を実施しているため「プログラミング教育を題材」とした体験学習は、令和6年度が初めてとなりますが、参加者数に課題があったため、仕様書のとおり「対象者やその保護者に届くような効果的な広報手段」による参加者の増加を期待します。